学校番号	T3009

令和8年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	精選日本史探究 今につなぐ未来をえがく（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「日本史探究」では、「歴史総合」で学んだ１８世紀以降の世界に関する基礎的知識の上に、１８世紀までの日本の歴史に触れ、「歴史総合」で学んだ内容の理解を深め、現在の世界や国際関係の成り立ちやその背景がより深く理解できるようになります。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】日本史に関する時代の区分、重要な歴史的事象・人物・制度について理解し、歴史用語を適切に用いることができている。
【思考力・判断力・表現力】史料や諸資料をもとに問いに対して、歴史的な背景や因果関係を多面的・多角的に考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象の理解を通して、多様な立場や価値観を尊重し、他者と協働して学ぼうとする態度を身に付けている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を読み取るために必要な知識・技能を身につけられている。	日本の歴史を学びながら、出来事を比べたり、つながりや影響を探究し、自分の考えを表現できている。	授業に前向きに取り組み、「なぜこのような出来事が起きたのか」といった疑問を持ち、その疑問を解決しようとする姿勢がある。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	原始・古代の日本と東アジア	○国家と文化の形成 ○古代国家の確立	a:人類の歴史と地球環境の関わり、日常生活と世界の歴史とのつながりについて理解する。 b:出来事を比べ、つながりや影響を探究し、自分の考えを表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追及したり解決する活動に主体的に取り組む。	定期考査 レポート	授業プリント 定期考査 レポート	レポート 授業態度 発問評価
後期	中世の日本と世界	○中世社会の成立 ○中世社会の展開	a:武家政権の成立過程や基本的な制度を理解する。 b:武家政権の成立が社会構造に与えた影響について、複数史料を基に、多面的に考察し、表現する。 c:諸資料を活用し課題を追及したり解決する活動に主体的に取り組む。	定期考査 レポート	授業プリント 定期考査 レポート	レポート 授業態度 発問評価
	近世の日本と世界	○統一政権の成立 ○幕藩体制の展開	a:幕藩体制の仕組みと経済発展の特色を関連付けて理解し、統計資料や図版などから近世社会の特徴を適切に理解する。 b:幕藩体制の成立が経済発展や社会構造の変化にどのような影響を与えたかについて、複数の史料を基に多面的に考察し、表現する。 c:諸資料を活用し課題を追及したり解決する活動に主体的に取り組む。	定期考査 レポート	授業プリント 定期考査 レポート	レポート 授業態度 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度